

夢・社会・未来をつむぐ 女性イノベーターに学ぶ

受講申し込み方法

- ① 受講申込用紙をFAX（パンフレット中面にFAX用の受講申込用紙が挟んである場合ご利用ください）
または 関西学院大学経営戦略研究科ウェブサイト
（<http://www.kwansei-ac.jp/iba/>）から
大同生命寄付講座申し込みフォームに必要事項を入力し送信
- ② 申し込み日から3日以内に受講料（3,000円）を振り込んでください。
- ③ 11月上旬以降、順次事務局から受講案内のメールをお送りします。
 - ・定員（95名）に達し次第、受付を終了いたします。
 - ・受付の終了は関西学院大学経営戦略研究科ウェブサイトにてお知らせいたします。



関西学院大学 大阪梅田キャンパス
 阪急梅田駅茶屋町口下車北へ徒歩5分
 大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階・14階
 TEL.06-6485-5611
http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/



大同生命保険株式会社

大同生命 寄付講座

夢・社会・未来をつむぐ 女性イノベーターに学ぶ

KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY INSTITUTE OF BUSINESS AND ACCOUNTING

関西学院大学経営戦略研究科

21世紀の国際経済をリードする経営、会計のプロフェッショナルを育成

社会を構成する多くの要素が複雑化、高度化するとともに、経済活動における急速なグローバル化は、企業や公的機関をとりまく環境を大きく変化させようとしています。今、既存のビジネスモデルやシステムの継続ではなく、世界規模で流動化する多様な状況に応じ、適切かつ迅速に対応するとともに、新たなビジネスや公共サービスを主体的に創造する先駆的な戦略が求められているのです。

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科 (Institute of Business and Accounting: IBA) では、これからの企業経営や日本社会に求められる、

高度な専門知識とグローバルな視点と国際社会で通用するスキルと高い倫理観を備えた21世紀型ビジネスや公共サービスをリードする経営・会計のプロフェッショナルの養成をめざします。また、博士課程後期課程を置き、実践型研究者の養成にも取り組んでいます。転換期を迎えた日本経済を再構築し、確かな未来を拓く、知性、国際性、人間性、そして倫理観を兼ね備えた真のビジネスとアカウントティングのリーダーが、ここ関西学院大学から誕生します。

フルラインの学びを提供する 多彩なプログラム

経営戦略研究科には、世界に通用するビジネスパーソンを養成する「ビジネススクール（経営戦略専攻）」と、グローバル経済と地域経済に貢献し得る職業会計人の養成をめざす「アカウントティングスクール（会計専門職専攻）」の2つの専攻が設置されています。「ビジネススクール」には、社会人を対象に多様なプログラムを提供する「企業経営戦略コース」と、大学新卒者・外国人留学生を対象にすべての授業を英語で行う「国際経営コース」があります。また、「アカウントティングスクール（会計専門職専攻）」には、公認会計士・税理士、企業の会計プロフェッション、会計に強い公務員をめざす3つのプログラムがあります。さらに、応用性の高い研究に積極的に取り組む実践型研究者の養成の場として「先端マネジメント専攻（博士課程後期課程）」を設置しています。

経営戦略研究科 (IBA)	専門職大学院	大学院
	ビジネススクール (経営戦略専攻) 企業経営戦略コース <small>2年修了 週末・平日夜間に授業実施</small> 国際経営コース <small>2年修了 昼間を中心に英語で授業実施</small>	先端マネジメント専攻 (博士課程後期課程) 社会との関係を重視し、先端的なビジネスの問題を解決することに注力しながら、理論的な研究と実践性のある応用研究の双方を追求します。3年修了。昼夜間に授業実施。
	アカウントティングスクール (会計専門職専攻) <small>2年修了 昼間と夜間・週末に授業実施</small>	

詳しくは、<http://www.kwansei-ac.jp/iba/>をご参照ください。

大同生命寄付講座に関するお問い合わせ先

関西学院大学経営戦略研究科事務室
TEL: 0798-54-6572 / FAX: 0798-54-6581
 E-Mail: ibaseminar@kwansei.ac.jp

【個人情報の取り扱いについて】

本講座の申し込み時に、ご提供いただいた個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本講座運営と、社会に開かれた大学として関西学院大学が提供する公開講座などの教育プログラムのご案内にのみ利用させていただきます。



大同生命 寄付講座

「夢・社会・未来をつむぐ 女性イノベーターに学ぶ」

開催趣旨

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科ビジネススクールでは、これからの革新的な企業経営に求められる高度な専門的知識とグローバルな視点を備えたプロフェッショナルの養成を目指しています。

このたびは、大同生命保険株式会社のご協力を得て「夢・社会・未来をつむぐ 女性イノベーターに学ぶ」をテーマに一連の公開講座を開講する運びとなりました。女性企業家によるイノベーション、ダイバーシティ・マネジメント、ワークライフバランスなどの切り口から、本研究科の特色である「理論と実務の融合」を感じていただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場	アプローズタワー（11日）・関西学院大学 大阪梅田キャンパス（12日） [大阪市北区茶屋町19-19 アプローズタワー]	
定員	95名 ※先着順。定員に達し次第、締め切らせていただきます。	
受講料	3,000円（全日程分。資料・懇親会費を含みます）	
日程	11/11 土曜日	13:30～14:00 受付（アプローズタワー13階 会議室1・2） 14:00～15:00 「女性活躍社会の先駆けー草創期の女性事業家にみる企業家精神ー」 宮本 又郎氏（元関西学院大学経営戦略研究科教授、関西学院大学経営戦略研究科客員教授、大阪大学名誉教授、経済学博士、大阪企業家ミュージアム館長） 15:15～16:45 「行政におけるイノベーションとはー女性市長の挑戦ー」 稲村 和美氏（尼崎市長） コーディネーター 佐竹 隆幸（関西学院大学経営戦略研究科教授） 17:00～17:20 経営戦略研究科の紹介 佐竹 隆幸（関西学院大学経営戦略研究科教授） 18:00～19:30 懇親会 会場:ホテル阪急インターナショナル4階 「月華」
	11/12 日曜日	13:00～13:30 受付（アプローズタワー14階 1405教室） 13:30～15:00 「挑み続けて…道は必ず拓ける…」 藤浪 芳子氏（昭和精機株式会社 代表取締役会長） コーディネーター 佐竹 隆幸（関西学院大学経営戦略研究科教授） 15:15～17:00 パネルディスカッション「女性イノベーターによる革新的価値創造」 パネリスト（順不同） 梅谷 順子氏（公益財団法人兵庫県青少年本部 理事長、前兵庫県理事（地域創生・女性担当）） 田中 裕子氏（株式会社夢工房 代表取締役社長、兵庫県経営者協会 副会長） 小林 由佳氏（神戸新聞社 経済部長兼論説委員） 中川 登志子氏（メック株式会社 取締役常務執行役員） 木田 聖子氏（株式会社チャイルドハート 代表取締役社長） コーディネーター 佐竹 隆幸（関西学院大学経営戦略研究科教授）

ごあいさつー寄付講座開設にあたってー

大同生命は、「中小企業の継続的な発展を応援していきたい」という想いをお伝えする取組みとして、創業100周年を迎えた平成14年度より、全国各地の大学で寄付講座を開催してまいりました。

これまでに受講されたみなさまからは大変ご好評いただいております。関西学院大学様では通算11回目の開催となります。

未来に向けてこれからも中小企業のみならずともに歩んでいくために、当講座をひとりでも多くの方にお役立ていただけるようご支援してまいりますので、お誘い合わせのうえご受講いただければ幸いです。



大同生命保険株式会社

(ホームページ) <http://www.daido-life.co.jp/>

講座概要

2017年11月11日(土)

「女性活躍社会の先駆けー草創期の女性企業家にみる企業家精神ー」

これまでの日本の歴史のなかでは、女性が企業家として華々しく活躍した事例はそんなに多くありません。古くは「女名前禁止」といって、女性が商家の当主になることはできませんでした。しかし、近年、NHKの連続テレビ小説（いわゆる朝ドラ）が相次いで「カーネーション」（小篠綾子）「あさが来た」（広岡浅子）「とと姉ちゃん」（大橋鎮子）「べっぴんさん」（坂野惇子）「わろてんか」（吉本せい）と実在の女性企業家をモデルとするドラマを製作したこともあって、日本の経済発展のなかで重要な役割を演じた女性企業家が少なからず存在していたことが明らかになってきました。これら先駆的企業家とはどんな人だったのか。どのような条件下で彼女たちは活躍できたのか。どのような苦労を経験したのか、女性企業家としての特質はみられるのか。本講座を寄付頂いている大同生命の創業者の一人である広岡浅子、ファミリアの坂野惇子、吉本興行の吉本せいを中心事例にお話してみたいと思います。



みやもと またお
宮本 又郎

元関西学院大学経営戦略研究科教授
関西学院大学経営戦略研究科客員教授
大阪大学名誉教授、経済学博士
大阪企業家ミュージアム館長

神戸大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。大阪大学経済学部教授、同経済学部長、関西学院大学大学院経営戦略研究科教授を経て、現職。元経営史学会会長、前企業家研究フォーラム会長、江崎グリコ(株)社外監査役。著書:『近世日本の市場経済』(有斐閣、1988年)、『日本の近代11 企業家たちの挑戦』(中央公論新社、1999年)、『日本企業経営史研究』(有斐閣、2010年)、『企業家たちの幕末・維新』(メディアファクトリー、2012年)、『高都大阪をつくった男 五代友厚』(NHK出版、2015年)、『浪沢栄一』(PHP研究所、2016年)など。受賞:第31回日経・経済図書文化賞(1988年)、第5回NIRA政策研究・東畑記念賞(1989年)、企業家研究フォーラム特別賞(2016年)。

14:00～15:00

「行政におけるイノベーションとはー女性市長の挑戦ー」

人口も経済も右肩上がりだった高度成長期から成熟期へと社会が大きく変化する中、行政においても「イノベーション」が求められています。外部環境の変化を前提とした事業評価の実施(予算偏重から決算重視へ)、「行政は常に正しい」という無謬性神話からの脱却、地域自治の推進と官民の補完的連携強化による「公共」の再構築、できない理由ではなく、どうやったら、何ならできると考え実践する政策力の向上など、取り組むべき課題は山積みです。市長の仕事の醍醐味と苦悩は、組織マネジメントにあると実感しています。市長就任時には保育所に送り迎えをしていた娘も今や小学6年生。この約7年、自分なりに「等身大のリーダー」として取り組んできた、その挑戦と試行錯誤の一端についてお話しします。



いなむら かずみ
稲村 和美

尼崎市長

1998年 神戸大学大学院法学研究科修士課程修了。
同年 神栄石野証券(現SMBCフレンド証券)入社。
2002年 同社退職
2003年 兵庫県議会議員(第1期)
2007年 兵庫県議会議員(第2期)
2010年 尼崎市長(第1期)
2014年 尼崎市長(第2期) モットーは「まず自分から!」

15:15～16:45

懇親会 講座終了後に異業種交流を兼ねた懇親会を行います。 会場:ホテル阪急インターナショナル4階 「月華」

2017年11月12日(日)

「挑み続けて…道は必ず拓ける…」

私が突然平凡な主婦から会社の社長になったのは34歳の夏だった。8歳と4歳の子供を家に残し、早朝から深夜まで工場を切り盛りする怒涛のような生活が始まった。当時は女性が社会で活躍することが当たり前ではなかった。その上まさか自分が働くことになるなど夢にも考えていなかった。何の準備も社会経験もない女性が町工場の経営者になるということはいったいどういうことなのか。恥ずかしいほど社会人として無知だった私が、事業継続のために会得した神髄は「自立」と「挑戦」だ。どんな環境にあっても信念を貫き、すべての責任は自分にあると自覚、自力で苦境を切り拓いていくこと、そして数少ないビジネスチャンスに遇った時、必ずチャレンジをすることだ。できない理由はたくさんある。やりぬくためにあらゆる努力を惜しまないことこそ自己実現の唯一の道であるとの心境に至っている。37年間で経営者として得た経験から、人としての「気づき」をお話させていただきます。



ふじなみ よしこ
藤浪 芳子

昭和精機株式会社代表取締役会長
関西学院同窓会評議員
兵庫県立長田高等学校同窓会副理事長

1981年8月昭和精機有限会社代表取締役社長に就任。2015年6月昭和精機株式会社代表取締役会長に就任。神戸経済同友会副代表幹事、神戸市機械金属工業会会長、兵庫県財政構造改革審議会委員、神戸市個人情報審議会委員、近畿財務局財務行政モニター、兵庫県信用保証協会監事、国立大学法人兵庫教育大学経営協議会副議長、公立大学法人兵庫県立大学経営審議会委員など公職多数。2009年神戸市産業功労者、2012年関西財界セミナー賞「輝く女性賞」、日刊工業新聞社「女性経営者賞」、2013年兵庫県女性活躍功労表彰、2017年経済産業大臣賞「はばたく中小企業・小規模事業者300社」など受賞。2011年「明日へ繋ぐ」、2016年「女性社長、世界を翔ける」出版。

13:30～15:00

パネルディスカッション「女性イノベーターによる革新的価値創造」

今後日本の経済・社会が成長を続けていくためにはイノベーションが不可欠である。そのイノベーションの担い手として女性の活躍が注目されている。男女雇用機会均等法が施行され30余年が経過し、2015年には女性活躍推進法が制定された。女性が起業家や経営者、管理職者として活躍できる環境が整いつつある。各分野で女性ならではの発想や着眼点、またきめ細やかな配慮によるイノベーション力を発揮し、組織や社会に革新的な付加価値を生み出している女性イノベーターとしての資質とは何か。5名の女性イノベーターを招き、女性だからできるすぐれたコミュニケーション力、ネットワーク構築力などを活かした革新的価値創造のプロセスを考える機会とする。



うめたに じゅんこ
梅谷 順子

公益財団法人兵庫県青少年本部 理事長
前兵庫県理事(地域創生・女性担当)
1956年生まれ、神戸市出身。1979年 京都大学法学部卒業、兵庫県入庁。男女共同参画、健康づくり、芸術文化、地域安全などの分野を担当。2012～2013年 丹波県民局長として単身赴任。2014～2015年 環境部長。地球温暖化対策、鳥獣被害防止、森づくりなどに取り組む。2016年 兵庫県理事として、地域創生・女性青少年施策を総括。2017年より現職。青少年健全育成、体験活動、不登校・ひきこもり対策、ネットトラブル防止、出会いサポート、人材育成などに取り組む。



こばやし ゆか
小林 由佳

神戸新聞社 経済部長兼論説委員
1990年神戸新聞社入社。淡路総局を皮切りに、社会部、文化生活部などを経て2000年から経済部。2014年から現職。これまで教育問題、社会保険などを担当し、経済部では流通、電鉄、金融機関、財界を主に取材した。2016年4月から今年4月まで神戸新聞で連載した「遙かな海路～巨大商社・鈴木商店が残したものの」取材班として、記者兼デスクを務めた。小学3年生の女兒の母でもある。

15:15～17:00



なかがわ としこ
中川 登志子

メック株式会社 取締役常務執行役員

なかがわ としこ
中川 登志子

メック株式会社 取締役常務執行役員

1984年3月 大阪大学卒業。1984年4月 メック株式会社入社。2004年4月 研究開発センター長に就任したのを皮切りに、執行役員、取締役を経て、取締役常務執行役員・経営企画本部長として現在に至る。女性初の執行役員として数々のイノベーションを展開する。



たなか ひろこ
田中 裕子

株式会社夢工房 代表取締役社長
兵庫県経営者協会 副会長
1968年 早稲田大学理工学部 卒業。1968年 川崎重工業(株)船舶電算企画課 入社。1975年 退職。1976年～85年 日本情報サービス、大阪システム開発 勤務。1986年 有限会社田中ソフト 東灘区の自宅で創業。1989年 株式会社 設立 現在に至る。女性が結婚しても、子どもを産んでも働き続けられる会社を!という理念を作った会社。いい仕事をしたい、いい製品を創りたい、働き続けたいという思いを共有しながら、それぞれが、いろんな働き方を試行錯誤しながら時代の先取りをしてきました。1993年 神戸市企業育成室 一期生。1993年 ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー'93を獲得。2003年 第1回 こうべ男女いきいき事業所 表彰。2009年 男女共同参画社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰を受ける。



きだ しょうこ
木田 聖子

株式会社チャイルドハート 代表取締役社長
1961年生まれ。武庫川女子短期大学初等教育科 幼稚園課程卒業後、くもろ幼稚園、警察共済組合兵庫県支部 パレス神戸 総務、明豊保育園に勤務。1992年10月 幼児教室 チャイルドハートクラブ設立。2000年12月 株式会社チャイルドハート設立 現在に至る。